

平成29 年度 全国学力・学習状況調査 本校の状況について

札幌市立東苗穂小学校
校長 鈴木 宏 宣

さわやかな秋の風が吹き始めた今日この頃ですが、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年4月に実施されました「平成29年度全国学力・学習状況調査」(6年生)の本校の状況についてお知らせいたします。

札幌市では、札幌市全体の児童の学習状況を把握し、それを各学校における指導方法などの工夫改善に生かすことを目的として、この調査に参加しています。本校でも、この調査結果を参考にし、これからの授業にいかしていきたいと考えています。

※実施教科は、国語・算数の2教科のみです。本調査の結果については、お子さんの「学ぶ力」の一側面であることにご留意ください。

○国語 A・Bについて

国語 A <基礎的・基本的な知識・技能が身につけているかどうかをみる問題>

- (例)・手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する。
- ・俳句の情景について考えたこととして、適切なものを選択する。
- ・漢字を読む、書く「対象、希望、期限、事務室、置く、指示」

国語 B <基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題>

- (例)・グループの話合いの中で、スピーチメモを使うことの良さについてどのように考えているか書く。
- ・友達の考えと同じ考えの人を説得するために引用する文章を選択する。
- ・「きつねの写真」を読んだ後の話合いにおける発言の意図として適切なものを選択する。

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

「話すこと・聞くこと」

▼全国平均に比べ、下回っている。

「書くこと」

▼全国平均に比べ、下回っている。

「読むこと」

▼全国平均に比べ、下回っている。

「言語事項」

▼全国平均に比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「話すこと・聞くこと」

▼全国平均に比べ、下回っている。

「書くこと」

▼全国平均に比べ、下回っている。

「読むこと」

▼全国平均に比べ、下回っている。

今回の調査における課題

- 目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すこと
- 手紙の構成を理解し、後付けを書くこと
- 目的や意図に応じて、必要な内容を整理して書くこと
- 物語文を読み、感想を伝え合う中で、自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えること

改善の方向

- スピーチについて助言しあう活動等により、自分の立場や結論を明確にし、事実と感想、意見とを区別して話せるように指導する。
- 手紙の基本的な形式やその意味について理解できるよう指導する。
- 目的に応じて書くなどの学習活動から、取材した情報から必要な内容を整理して書けるような指導を充実させる。
- 物語を読んだ感想を交流し、互いの考えの共通点や相違点を明らかにすることが自分の考えを広げたり深めたりすることにつながることを実感させる指導を充実させる。

○算数A・Bについて

算数A <基礎的・基本的な知識・技能が身につけているかどうかをみる問題>

- (例)・8と12の最小公倍数を求める。
 ・円を使って正五角形を描くとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く。
 ・二次元表の合計欄に書く数を書く。
 ・ $5 \div 9$ の商を分数で表す。

算数B <基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題>

- (例)・2けたの引き算の答えを求めることができるきまりを書く。
 ・仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める。
 ・学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ。
 ・「最小の満月の直径」の図に対して「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ。
 ・与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだ訳を書く。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

「数と計算」

▼全国平均に比べ、下回っている。

「量と測定」

▼全国平均に比べ、下回っている。

「図形」

▼全国平均に比べ、下回っている。

「数量関係」

▼全国平均に比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「数と計算」

▼全国平均に比べ、下回っている。

「量と測定」

▼全国平均に比べ、下回っている。

「図形」

▼全国平均に比べ、下回っている。

「数量関係」

▼全国平均に比べ、下回っている。

●少数や分数の情報や除法の計算の意味について理解したり、計算の仕方を考えたりし、それらの計算ができること

例) $5 \div 9$ (商を分数で)

●量の大きさの測定値について理解できるようにすること

●図形についての観察や構成などの活動を通して、図形の性質を見出すことができること

●百分率について理解できるようにすること
 例) 示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断する

●数量の関係を表す式について理解し、式を用いることができるようにすること

○具体的な場面と関連付けながら図に表したり、答えの大きさの見当をつけたりすることで数量の関係を捉えることができるよう指導する。

○およそどれくらいになるか見積もったり、基準を変えて考察する活動を取り入れたりすることで、工夫して求める良さを実感できるよう指導する

○作図する活動を通して図形を構成・分解したり、性質を見出したりする指導を充実させる

○目的を明確にし、その目的に応じた資料を集めて分類整理したり、それを表やグラフなどにわかりやすく表現したり、特徴を調べたり、読み取ったりする指導を充実させる

○帯グラフと円グラフの特徴を捉えることで、割合を比較する目的に適したグラフを考える